

教育研修講義

日時:平成28年6月28日(火) 午後5時より開始

場所:新王子病院 4F 研修室

講師:済生会八幡総合病院 腎センター 西原学宣先生

内容:多発性再発性ラクナ梗塞

多発性再発性ラクナ梗塞を繰り返し現在当院でリハビリ目的で入院中の症例についての講義でした。

初回入院時には、上記診断でしたが、抗血小板療法中での脳梗塞再発という経過で2回目の入院時に、聞き慣れない橋左側の急性脳梗塞BADとの診断でした。BADとは...

分岐粥腫型梗塞といい Branchi Atheromatous Diseaseで BAD アテローム血栓性脳梗塞とラクナ梗塞の中間に位置するとのことでした

そして、アテローム血栓性脳梗塞とラクナ梗塞の違いや抗血小板療法について、またBADはわが国では欧米に比べ頻度が高く、多くが治療抵抗性で進行性憎悪を辿ることが特徴でアテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞に準じた画一的な抗血小板療法では進行性憎悪を予防できず機能予後も改善しないという事を学びました

